



# ちきゅう見聞録

～ 香大生 back at home ～

野村梨紗  
さんは  
見た！

◎農学部 応用生物学科 2年生  
◎2019年8月19日から5週間、西オーストラリア  
大学での英語研修に参加

## Vol.18 オーストラリア ～パース～



この動物  
はクオッカ。  
「世界一幸せ  
な動物」と言  
われます。



パースの海岸線から沖合18kmのところに**ロットネスト島**という小さな島があります。この島全体がA級自然保護指定の国立公園となっていて、手つかずの自然が数多く残っており、パースで一番人気のある観光地です。一般の車両の乗り入れは禁止されているため、バスか自転車で島を回るのが一般的です。またこの島には**クオッカ**が息ついていて、笑っているように見えることから世界一幸せな動物と呼ばれています。観光客の多くはクオッカと2ショットのクオッカセルフイを撮ろうとしています。クオッカの他にも**野生の孔雀**や**オットセイ**、運が良ければ**クジラ**や**イルカ**も見ることができ、この島の自然を満喫することができます。

西オーストラリア大学のCentre for English Language Teaching という学校で**5週間の語学研修**に参加しました。学校では8:30から10:30、10:45から12:45までの2コマ授業があり、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングのすべての力を伸ばすために構成された授業でした。午後は授業がないので市内へ買い物に行ったりクラブ活動に参加したりしました。



パースは**世界で一番美しい都市**と呼ばれており、街はとてもきれいでした！その理由は**ゴミ箱**にあると私は思います。パースでは何か捨てたいときにゴミ箱を探す必要がないくらいありとあらゆる場所にゴミ箱があり、ポイ捨てをする人もいません。

種類は蓋の色によって区別されます。リサイクル用のゴミを捨てる黄色の蓋のゴミ箱と、それ以外のゴミを捨てる赤色の蓋のゴミ箱が至る所にあります。分別も日本のように細かくなく簡単でした。その代わりに税金が高いとホストマザーは言っていました、美しい街づくりがされていて素晴らしいなと思いました。



西オーストラリア大学のJapSocという日本語を勉強している学生のサークルに入り、毎週水曜日の活動に参加しました。たくさんの学生が参加しており、現地の学生と友達になることができました。このサークルのほとんどの学生が日本語を話すことができ、**日本語を学んでいる人が大勢いる**ことに驚きました。

オーストラリアは多民族・多文化国家で、世界から多くの移民を受け入れている国であるため、様々な国の人に出会い、日本とは異なる文化を感じることができたのは良い経験です。